
R 5

決算

Takarazuka
City
Hospital



宝塚市立病院

2024年8月

目 次

1. 決算の概要	1
2. 入院患者数等	1
3. 外来患者数等	1
4. 入院・外来のうち「がん治療」	1
5. 決算の詳細	2
6. 主要施策	4
7. 主な経営数値	6
8. 診療科別 入院実績	8
9. 診療科別 外来実績	10
10. 新型コロナウイルス感染症	12

1. 決算の概要

令和5年度（2023年度）は経常収益合計（医業収益と営業外収益の合計額）13,118,916千円に対し、経常費用合計（医業費用と営業外費用の合計額）13,535,260千円となり、416,344千円の経常損失が生じましたが、経営支援のため一般会計から800,000千円の補助金（特別利益）を収入したことにより、経常損益に特別利益及び特別損失を加えた当年度純利益は385,620千円となりました。また、資本的収入及び支出としては、1,499,902千円の資本的支出に対して、476,463千円の資本的収入となり、1,023,439千円の不足額が生じました。

令和2年（2020年度）1月に国内初の感染者が確認され、3度の緊急事態宣言が発出された新型コロナウイルス感染症は、令和5年（2023年）5月8日に感染症法上の2類感染症から5類感染症に移行しました。これに併せ、新型コロナウイルス感染症専用病棟を一般病棟に戻しましたが、入院患者数は、前年度比較では増加したものの、コロナ禍前と比較すると依然として大きく下回っています。この原因は、看護師不足による病棟閉鎖が最も大きいものと捉えています。

2. 入院患者数等

入院単価が前年度と比較して減少した一方、患者数が増加したことから、入院収益は378,128千円増加して6,913,647千円となりました。診療科別の詳細は8ページ・9ページに記載しています。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年間延入院患者数 (人)	124,481	108,265	96,136	93,286	99,952
1日入院患者数 (人)	340.1	296.6	263.4	255.6	273.1
平均在院日数 (日)	10.6	10.9	10.7	10.3	9.9
入院単価 (円)	53,981	59,432	64,417	70,059	69,170
入院収益 (千円)	6,719,603	6,434,422	6,192,791	6,535,519	6,913,647

3. 外来患者数等

患者数が前年度と比較して減少した一方、外来単価が前年度と比較して増加したことから、収益は173,622千円増加して4,246,577千円となりました。診療科別の詳細は10ページ・11ページに記載しています。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年間延外来患者数 (人)	222,208	200,787	215,425	218,972	214,894
1日外来患者数 (人)	914.4	816.2	882.9	893.8	877.1
うち初診患者数 (人)	120.5	103.4	121.4	126.3	109.1
外来単価 (円)	17,051	18,193	18,550	18,600	19,761
外来収益 (千円)	3,788,844	3,652,828	3,996,133	4,072,955	4,246,577

4. 入院・外来のうち「がん治療」

がん入院患者数は2,625人であり、前年度と比較して145人増加しました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
がん入院患者数 (人)	2,560	2,656	2,387	2,480	2,625
外来化学療法患者数 (人)	3,001	3,210	3,653	4,137	4,445
放射線治療新規患者数 (人)	267	263	304	324	366

5. 決算の詳細

(1) 収益的収入及び支出（損益計算書/税抜）

(千円)

	区 分	令和5年度	令和4年度	増減額	前年比(%)	備考
収 入	医業収益	11,818,323	11,213,903	604,420	105.4	
	（入院収益）	(6,913,647)	(6,535,519)	(378,128)	(105.8)	
	（外来収益）	(4,246,577)	(4,072,955)	(173,622)	(104.3)	
	（他会計負担金）	(492,031)	(445,441)	(46,590)	(110.5)	※1
	（その他）	(166,068)	(159,988)	(6,080)	(103.8)	
	医業外収益	1,300,593	2,289,609	△ 989,016	56.8	
	（受取利息）	(11)	(7)	(4)	(157.1)	
	（他会計補助金）	(357,191)	(358,143)	(△ 952)	(99.7)	
	（他会計負担金）	(128,652)	(179,163)	(△ 50,511)	(71.8)	※2
	（国県補助金）	(107,451)	(1,078,414)	(△ 970,963)	(10.0)	※3
	（長期前受金戻入）	(52,277)	(49,380)	(2,897)	(105.9)	
	（資本費繰入収益）	(526,446)	(509,026)	(17,420)	(103.4)	
	（雑収益）	(179)	(353)	(△ 174)	(50.7)	
（その他）	(128,386)	(115,123)	(13,263)	(111.5)	※4	
特別利益	806,621	3,197	803,424	25,230.6		
（他会計補助金）	(800,000)	(0)	(800,000)	（皆増）	※5	
（過年度損益修正益）	(6,621)	(3,197)	(3,424)	(207.1)		
収益合計	13,925,537	13,506,709	418,828	103.1		
支 出	医業費用	12,927,518	12,342,741	584,777	104.7	
	（給与費）	(6,742,288)	(6,550,266)	(192,022)	(102.9)	
	（材料費）	(3,116,565)	(2,793,758)	(322,807)	(111.6)	※6
	（経費）	(2,156,582)	(2,140,851)	(15,731)	(100.7)	
	（減価償却費）	(863,364)	(791,096)	(72,268)	(109.1)	
	（その他）	(48,719)	(66,770)	(△ 18,051)	(73.0)	
	医業外費用	607,742	574,645	33,097	105.8	
	（支払利息等）	(50,084)	(55,406)	(△ 5,322)	(90.4)	
	（長期前払消費税償却額）	(66,302)	(61,898)	(4,404)	(107.1)	
	（雑支出）	(491,356)	(457,341)	(34,015)	(107.4)	
	特別損失	4,657	2,352	2,305	198.0	
	（過年度損益修正損）	(4,657)	(2,352)	(2,305)	(198.0)	※7
	費用合計	13,539,917	12,919,738	620,179	104.8	
当年度純利益	385,620	586,971	△ 201,351	65.7		
繰越未処分利益剰余金	1,320,496	733,525				
未処分利益剰余金	1,706,115	1,320,496				
利益処分額(案)	0	0				

※1 うち「救急医療に要する経費」に係る一般会計繰入金 R5：454,307千円、R4：415,488千円

※2 うち「高度医療に要する経費」に係る一般会計繰入金 R5：47,969千円、R4：97,508千円

※3 うち新型コロナウイルス関連補助金 R5：75,142千円、R4：1,048,525千円

※4 （増額の理由）廃棄パソコン等の売却収入5,886千円

※5 （令和5年度の内容）経営支援のための一般会計からの補助金 800,000千円

※6 （増額の内訳）薬品費+208,420千円、診療材料費+115,130千円、診療消耗備品費△743千円

※7 （増額の理由）過年度の入院に係る調定減の増加のため

(2) 資本的収入及び支出 (税込)

(千円)

	区 分	令和5年度	令和4年度	増減額	前年比(%)	備考
収 入	企業債	383,700	864,500	△ 480,800	44.4	
	他会計補助金	24,151	0	24,151	皆増	※8
	他会計負担金	37,821	36,789	1,032	102.8	
	寄 附 金	952	9,810	△ 8,858	9.7	
	投資返還金	24,257	530,351	△ 506,094	4.6	
	国 県 補 助 金	5,582	1,903	3,679	293.3	※9
	収入合計	476,463	1,443,353	△ 966,890	33.0	
支 出	建設改良費	449,655	907,100	△ 457,445	49.6	
	(建設改良工事費)	(154,194)	(74,263)	(79,931)	(207.6)	※10
	(固定資産購入費)	(289,470)	(826,950)	(△ 537,480)	(35.0)	※11
	(リース資産購入費)	(5,991)	(5,887)	(104)	(101.8)	
	企業債償還金	1,040,247	1,007,236	33,011	103.3	
	他会計借入金償還金	10,000	800,000	△ 790,000	1.3	
	支出合計	1,499,902	2,714,336	△ 1,214,434	55.3	
資本的収支差額		△ 1,023,439	△ 1,270,983	247,544	80.5	

補 填 財 源	消費税資本的収支調整額	1,107
	損益勘定留保資金	1,022,332
	合 計	1,023,439

※8 (令和5年度の内容) 勤怠管理システムに係る一般会計繰入金 24,151千円

※9 (令和5年度の内容) 循環器病医療連携ネットワーク構築事業補助金 5,582千円

※10 (令和5年度の主な内容) 中央監視室監視制御設備更新整備 34,980千円
北棟吸収式冷温水発生機取替修繕 33,000千円
非常業務放送設備更新修繕 21,889千円

※11 (令和4年度の主な内容) 電子カルテシステム 597,361千円
(令和5年度の主な内容) マンモグラフィ更新 43,890千円
内視鏡ファイリングシステム更新 44,000千円
院内無料Wi-Fi 37,011千円
航空搬送拠点臨時医療施設保有医療機器整備 7,214千円

6. 主要施策

(1) 医療の質向上の取組

① 内視鏡ファイリングシステム更新 (44,000千円)

内視鏡部門の様々な運用を電子化し、関連部門でデータを共有できる内視鏡ファイリングシステムを更新しました。サーバー、クライアント、関連機器を更新しています。



② マンモグラフィ更新 (43,890千円)

令和2年(2020年)4月に乳腺専門医を招聘し、翌年1月から乳腺外来を標榜しました。現行の乳房X線撮影装置は導入後15年が経過したサポートエンドの機種であることから、特殊技術であるトモシンセンス撮影技術(3D画像)を有する新機種に更新しました。



決算額		87,890 千円
財源	企業債	87,800 千円
	一般会計繰入金	0 千円
	補助金等	0 千円
	自己資金	90 千円

資本的支出>建設改良費>固定資産購入費

(2) 患者満足度向上の取組

① 院内無料Wi-Fiの導入 (37,011千円)

令和6年(2024年)3月18日から、患者さんや付き添いのご家族の利便性の向上のため、病院内において、公衆無線LANインターネットに接続できるサービスの提供を開始しています。



② 待合番号案内アプリの導入 (1,320千円)

令和6年(2024年)3月18日、スマートフォンで診察案内番号や会計番号などを確認できる無料アプリ(スマパ)を導入しました。これにより、診察順が近づくと、通知を受け取ることができるようになりました。



決算額		38,331 千円
財源	企業債	38,300 千円
	一般会計繰入金	0 千円
	補助金等	0 千円
	自己資金	31 千円

資本的支出>建設改良費>固定資産購入費

(3) 大規模災害に備えた取組

① 航空搬送拠点臨時医療施設保有医療機器整備

大規模・広域災害時には、重症患者の救命と被災地内医療の負担軽減を図る目的で航空搬送拠点臨時医療施設(SCU)が大阪国際空港(伊丹空港)に設置されます。近接する災害拠点病院である市立病院(阪神北医療圏域では当院のみ)がSCUで使用する医療機器を保管、管理し、大規模災害発生時にいち早く医療機器を搬送するとともに、DMAT活動を行います。
令和6年能登半島地震対応には、DMATチーム派遣に加え、避難所等へ医師、看護師を派遣しました。



決算額		7,214 千円
財源	企業債	0 千円
	一般会計繰入金	0 千円
	補助金等	7,214 千円
	自己資金	0 千円

資本的支出 > 建設改良費 > 固定資産購入費

(4) 施設の老朽化に対する取組

① 中央監視室監視制御設備更新(34,980千円)

監視制御設備の一部は、メーカー推奨更新時期を大幅に過ぎている現状です。監視制御設備に故障が発生すると、中央監視室から病院内各施設・機器の監視・操作ができず、病院運営に支障をきたすため更新しました。



② 北棟吸収式冷温水発生機更新(33,000千円)

設置後25年が経過し、2台ある冷温水発生機のうち1台は停止中、もう1台は能力が80%程度まで劣化しているため更新しました。



③ 非常業務放送設備更新(21,889千円)

設置後26年が経過し、メーカー推奨更新時期を過ぎており、非常時の避難誘導等に必要不可欠であるため、更新しました。

決算額		89,869 千円
財源	企業債	89,800 千円
	一般会計繰入金	0 千円
	補助金等	0 千円
	自己資金	69 千円

資本的支出 > 建設改良費 > 工事請負費



7. 主な経営数値

(1) 経常収支比率

経常費用が経常収益によってどの程度まかなえているかを示す指標です。100%で経常費用と経常収益が均衡、100%未満では損失が発生しています。令和3年度（2021年度）および令和4年度（2022年度）は100%を上回りましたが、令和5年度（2023年度）は100%未満となっています。

	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
経常収支比率 (%)	96.4	96.8	103.0	104.5	96.9

(2) 純利益及び未処分利益剰余金

当年度純利益は令和2年度（2020年度）から4年連続でプラスです。ただし、令和5年度（2023年度）は経営支援のために一般会計から受け取った8億円の補助金があることにより黒字となっています。

8億円の補助金がない場合、令和5年度（2023年度）は414,380千円の赤字です。

	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
当年度純利益 (千円)	△51,325	160,064	366,610	586,971	385,620
未処分利益剰余金 (千円)	206,850	366,914	733,524	1,320,495	1,706,115

(3) 年度末の一時借入金及び長期借入金残高

各年度末における一時的な借入金（短期的な借入金）と長期的な借入金の残高は次のとおりです。引き続き資金不足の解消及び財政状態の健全化に取り組んでいきます。

	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
一時借入金 (千円)	1,500,000	1,100,000	0	0	0
長期借入金 (千円)	1,960,000	1,960,000	1,960,000	1,160,000	1,150,000

(4) 企業債借入額、償還額及び残高

企業債とは施設の建設・改修や医療機器の購入に充てるために国等から借りる資金のことです。借入額よりも償還額が上回っており、企業債残高は減少傾向にあります。

	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
企業債借入額 (千円)	474,300	519,100	700,900	864,500	383,700
企業債償還額 (千円)	784,147	764,251	834,533	1,007,236	1,040,247
企業債残高 (千円)	6,911,658	6,666,507	6,532,874	6,390,138	5,733,591

(5) 職員数

各年度末における医師などの職員数は次のとおりです。令和5年度（2023年度）は前年度比で看護師が15人減少しており、全体では7人減少しています。

	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
医師 (人)	78	85	81	78	83
薬剤師 (人)	27	27	27	28	28
診療放射線技師 (人)	22	22	21	22	22
臨床検査技師 (人)	28	27	27	27	26
理学療法士 (人)	9	7	8	8	8
作業療法士 (人)	5	5	5	5	5
管理栄養士 (人)	6	6	6	6	6
視能訓練士 (人)	2	2	2	2	2
臨床工学技士 (人)	10	10	9	8	9
歯科衛生士 (人)	3	3	3	3	3
言語聴覚士 (人)	3	3	2	3	2
MSW (人)	4	4	4	4	5
CRC (人)	1	1	1	1	1
助産師 (人)	1	1	1	1	1
看護師 (人)	407	391	369	355	340
事務職員 (人)	23	25	26	24	27
合計 (人)	629	619	592	575	568

(6) 職員給与費

職員給与費比率は職員給与費を医業収益で除して計算しています。

	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
職員給与費 (百万円)	6,615	6,680	6,556	6,550	6,742
職員給与費比率 (%)	59.7	62.7	60.9	58.4	57.0

(7) 地域連携

紹介患者数（他の病院などから紹介状により紹介された患者数）、逆紹介患者数（他の病院などに紹介した患者数）は次のとおりです。

	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
紹介患者数 (人)	12,518	10,624	11,995	12,175	12,468
逆紹介患者数 (人)	19,657	15,698	17,728	19,654	20,676

8. 診療科別 入院実績

(1) 延入院患者数

過去5年間の診療科別の延入院患者数は次のとおりです。

(人)

診療科	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度と令和5年度		備考
						増減	比率	
内科(総合内科含む)	486	224	506	1,571	1,013	△ 558	64%	※1
小児科	1,808	547	901	706	1,082	376	153%	※2
外科	9,311	7,914	6,824	6,433	6,734	301	105%	
整形外科	23,486	16,868	15,681	14,500	14,480	△ 20	100%	
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	—	
皮膚科	4,010	3,208	2,079	2,245	2,376	131	106%	
泌尿器科	5,858	6,657	6,160	5,157	4,843	△ 314	94%	
産婦人科	0	0	0	0	0	0	—	
眼科	2,523	1,943	1,807	1,811	1,454	△ 357	80%	
耳鼻咽喉科	3,647	2,215	2,305	1,857	2,768	911	149%	※3
放射線診断科(放射線科)	0	0	0	0	0	0	—	
麻酔科	0	0	0	0	0	0	—	
脳神経外科	5,597	3,498	3,614	5,939	7,644	1,705	129%	※4
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	—	
心療内科	0	0	0	0	0	0	—	
歯科口腔外科	1,445	855	820	819	995	176	121%	
循環器内科	5,804	4,915	3,828	3,702	4,954	1,252	134%	※5
消化器内科	14,573	15,473	13,744	11,817	12,200	383	103%	
呼吸器内科	6,074	7,234	8,138	7,440	7,377	△ 63	99%	
呼吸器外科	385	958	1,051	718	1,188	470	165%	※6
腎臓内科	3,287	3,014	2,513	2,238	2,141	△ 97	96%	
緩和ケア内科	5,540	4,619	564	2,409	2,870	461	119%	
血液内科	9,711	10,171	9,841	8,631	9,763	1,132	113%	
リウマチ科	2,878	2,742	1,762	2,312	3,175	863	137%	※7
形成外科	3,552	2,404	2,342	1,884	1,708	△ 176	91%	
腫瘍内科	7,666	6,764	5,045	3,723	3,582	△ 141	96%	
糖尿病内科	1,119	847	880	782	723	△ 59	92%	
放射線治療科	0	0	0	0	0	0	—	
乳腺外科	-	135	837	662	808	146	122%	
救急科	5,721	5,060	4,894	5,930	6,074	144	102%	
合計	124,481	108,265	96,136	93,286	99,952	6,666	107%	

増減の理由

※1 内科(入院患者36%減・入院収益50%減)内科系の診療科が輪番制で対応した新型コロナウイルス感染症の患者が、令和5年度(2023年度)は大きく減少したため。

※2 小児科(入院患者53%増・入院収益42%増)2次救急輪番専用の応援医師を採用したため。

※3 耳鼻咽喉科(入院患者49%増・入院収益43%増)手術件数が令和4年度(2022年度)の178件から令和5年度(2023年度)は256件に増加したため。

※4 脳神経外科(入院患者29%増・入院収益53%増)手術件数が97件から135件に増加したため。

※5 循環器内科(入院患者34%増・入院収益14%増)救急外来での入院患者数が、令和4年度(2022年度)の77人から令和5年度(2023年度)には107人に増加したため。

(2) 入院収益

過去5年間の診療科別の入院収益は次のとおりです。

(百万円)

診療科	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度と令和5年度		備考
						増減	比率	
内科(総合内科含む)	24.9	13.1	59.5	170.0	85.3	△ 84.7	50%	※1
小児科	84.2	32.2	54.1	45.9	65.4	19.5	142%	※2
外科	606.0	612.2	538.9	572.7	560.6	△ 12.1	98%	
整形外科	1,227.2	1,030.2	990.4	985.9	1,000.1	14.2	101%	
リハビリテーション科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	
皮膚科	158.9	137.0	89.6	112.1	110.3	△ 1.8	98%	
泌尿器科	333.1	393.0	384.1	361.1	332.7	△ 28.4	92%	
産婦人科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	
眼科	169.7	144.0	147.9	155.7	134.3	△ 21.4	86%	
耳鼻咽喉科	234.6	145.9	149.2	154.2	220.8	66.6	143%	※3
放射線診断科(放射線科)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	
麻酔科	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	
脳神経外科	318.0	198.4	240.5	394.5	602.8	208.3	153%	※4
心臓血管外科	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	
心療内科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	
歯科口腔外科	76.1	48.2	54.6	60.3	66.6	6.3	110%	
循環器内科	332.6	336.5	259.0	283.2	322.0	38.8	114%	※5
消化器内科	740.6	820.0	772.9	736.5	745.4	8.9	101%	
呼吸器内科	289.5	358.6	439.1	452.3	417.7	△ 34.6	92%	
呼吸器外科	43.4	146.7	142.2	124.8	161.6	36.8	129%	※6
腎臓内科	133.0	124.0	113.8	101.6	94.8	△ 6.8	93%	
緩和ケア内科	269.1	226.8	39.8	124.7	146.0	21.3	117%	
血液内科	633.7	682.2	723.5	764.5	860.3	95.8	113%	
リウマチ科	140.4	134.1	94.8	105.4	179.9	74.5	171%	※7
形成外科	175.3	125.5	118.4	132.5	92.4	△ 40.1	70%	
腫瘍内科	418.7	383.3	315.5	230.2	239.5	9.3	104%	
糖尿病内科	42.5	32.4	37.0	32.8	32.7	△ 0.1	100%	
放射線治療科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	
乳腺外科	-	12.2	59.5	60.8	65.4	4.6	108%	
救急科	267.7	297.9	368.5	373.8	377.0	3.2	101%	
合計	6,719.6	6,434.4	6,192.8	6,535.5	6,913.6	378.1	106%	

※6 呼吸器外科(入院患者65%増・入院収益29%増)令和4年度(2022年度)8月に医師2名、専攻医1名の体制から医師1名、専攻医1名の体制となりましたが、令和5年(2023年)10月から医師2名体制となったことで、受入患者数が増加しました。一方で、DPC入院期間Ⅱを超えることが多い気胸の患者が、令和4年度(2022年度)の12人から令和5年度(2023年度)に23人と増加したことで、I+Ⅱ入院期間率が低下し、入院単価が前年度よりも低くなりました。

※7 リウマチ科(入院患者37%増・入院収益71%増)専攻医を2名増員したため。

9. 診療科別 外来実績

(1) 延外来患者数

過去5年間の診療科別の延外来患者数は次のとおりです。

(人)

診療科	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度と令和5年度		備考
						増減	比率	
内科(総合内科含む)	4,529	4,739	4,412	4,078	4,255	177	104%	
小児科	7,916	4,679	5,319	6,059	5,192	△ 867	86%	※1
外科	10,896	9,198	6,934	6,689	6,547	△ 142	98%	
整形外科	19,145	15,309	17,140	16,787	15,566	△ 1,221	93%	
リハビリテーション科	828	686	638	519	779	260	150%	
皮膚科	20,832	18,760	17,763	19,006	18,984	△ 22	100%	
泌尿器科	18,135	16,567	17,491	16,052	16,357	305	102%	
産婦人科	1,472	1,481	1,588	1,425	1,434	9	101%	
眼科	11,898	10,931	11,263	11,181	9,919	△ 1,262	89%	
耳鼻咽喉科	12,823	10,789	11,985	11,995	13,456	1,461	112%	
放射線診断科(放射線科)	1,966	1,457	1,752	1,981	1,938	△ 43	98%	
麻酔科	83	100	79	98	93	△ 5	95%	
脳神経外科	3,303	2,596	2,511	2,532	3,469	937	137%	※2
心臓血管外科	15	11	9	0	0	0	-	
心療内科	637	698	715	672	771	99	115%	
歯科口腔外科	12,621	9,620	9,813	11,231	12,164	933	108%	
循環器内科	11,341	8,988	9,233	9,414	9,268	△ 146	98%	
消化器内科	22,785	22,571	24,406	24,823	24,359	△ 464	98%	
呼吸器内科	6,405	7,621	9,367	10,115	10,490	375	104%	
呼吸器外科	1,305	1,334	1,054	1,012	1,046	34	103%	
腎臓内科	12,925	12,334	11,986	12,384	11,340	△ 1,044	92%	
緩和ケア内科	366	392	142	371	329	△ 42	89%	
血液内科	7,169	6,627	6,820	7,132	7,472	340	105%	※3
リウマチ科	9,367	8,811	9,757	10,078	10,972	894	109%	
形成外科	7,503	5,422	5,858	4,872	4,965	93	102%	
腫瘍内科	6,104	6,808	6,417	5,962	5,171	△ 791	87%	
糖尿病内科	2,352	3,155	3,464	3,819	3,802	△ 17	100%	
放射線治療科	5,836	4,907	5,862	6,159	6,806	647	111%	
乳腺外科	-	774	4,645	5,072	5,522	450	109%	
救急科	1,651	3,422	7,002	7,454	2,428	△ 5,026	33%	※4
合計	222,208	200,787	215,425	218,972	214,894	△ 4,078	98%	

増減の理由

※1 小児科(外来患者14%減・外来収益29%減)令和5年度(2023年度)に医師2名が休職したため。

※2 脳神経外科(外来患者37%増・外来収益39%増)救急車の受入件数が令和4年度(2022年度)の290件から令和5年度(2023年度)562件に増加したため。

※3 血液内科(外来患者5%増・外来収益32%増)外来での化学療法算定件数が令和4年度(2022年度)の549件から令和5年度(2023年度)は797件と大きく増加したため。

※4 救急科(外来患者67%減・外来収益59%減)発熱外来を総合内科で所管することとなり、外来患者数が減少したため。

(2) 外来収益

過去5年間の診療科別の外来収益は次のとおりです。

(百万円)

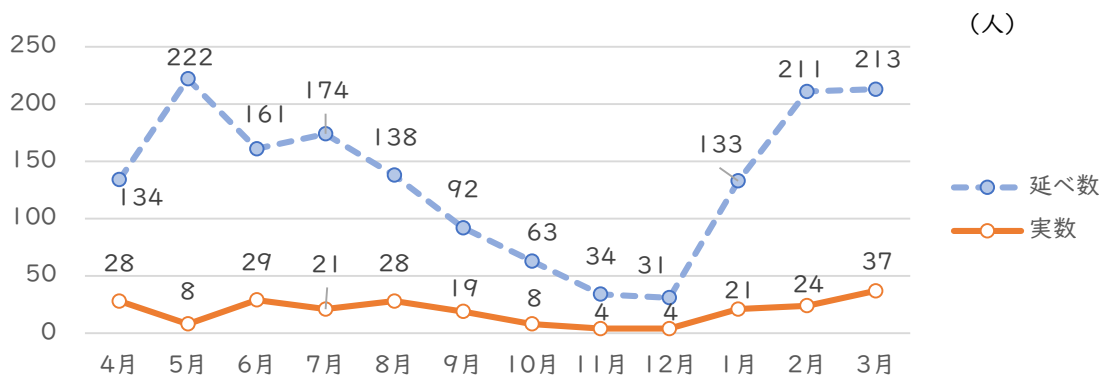
診療科	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度と令和5年度		備考
						増減	比率	
内科(総合内科含む)	42.3	48.1	46.4	41.3	46.0	4.7	111%	
小児科	86.4	62.8	60.5	68.7	48.8	△19.9	71%	※1
外科	254.7	164.5	82.9	78.4	78.8	0.4	101%	
整形外科	139.3	109.7	125.2	119.9	105.0	△14.9	88%	
リハビリテーション科	2.5	2.4	2.4	1.9	2.4	0.5	126%	
皮膚科	146.4	121.1	117.5	137.1	157.3	20.2	115%	
泌尿器科	260.7	237.3	264.1	245.2	268.7	23.5	110%	
産婦人科	10.4	14.0	15.2	13.5	11.2	△2.3	83%	
眼科	92.0	99.2	113.6	109.2	98.3	△10.9	90%	
耳鼻咽喉科	105.3	98.4	115.9	107.7	117.8	10.1	109%	
放射線診断科(放射線科)	51.6	37.5	43.7	48.9	47.9	△1.0	98%	
麻酔科	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	100%	
脳神経外科	42.0	32.1	29.2	30.6	42.5	11.9	139%	※2
心臓血管外科	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	-	
心療内科	1.4	1.5	1.7	1.4	1.6	0.2	114%	
歯科口腔外科	87.9	70.2	77.4	83.7	87.8	4.1	105%	
循環器内科	121.1	95.4	97.2	100.1	101.2	1.1	101%	
消化器内科	361.2	357.9	408.5	431.5	421.7	△9.8	98%	
呼吸器内科	146.5	223.4	345.7	409.2	467.9	58.7	114%	
呼吸器外科	25.4	17.8	13.9	12.5	13.8	1.3	110%	
腎臓内科	295.7	259.2	251.3	254.8	247.1	△7.7	97%	
緩和ケア内科	0.5	0.6	0.2	0.3	0.2	△0.1	67%	
血液内科	315.6	339.0	372.8	433.2	571.2	138.0	132%	※3
リウマチ科	221.9	207.3	231.5	225.9	240.3	14.4	106%	
形成外科	40.9	33.2	36.1	30.4	32.2	1.8	106%	
腫瘍内科	735.9	790.1	668.3	536.4	493.5	△42.9	92%	
糖尿病内科	32.0	41.0	46.9	52.6	54.0	1.4	103%	
放射線治療科	136.8	127.7	206.8	217.1	236.7	19.6	109%	
乳腺外科	-	25.6	152.8	179.4	211.2	31.8	118%	
救急科	32.2	35.6	68.2	102.1	41.4	△60.7	41%	※4
合計	3,788.8	3,652.8	3,996.1	4,073.0	4,246.6	173.6	104%	

10. 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は、令和5年（2023年）5月8日に感染症法上の2類感染症から5類感染症に移行し、その後、入院患者数は減少していましたが、令和6年（2024年）1月から再び増加に転じ、第10波に入りました。

（1）令和5年度（2023年度）の月別入院患者数

新型コロナウイルス感染症の入院患者の月別推移は次のとおりです。



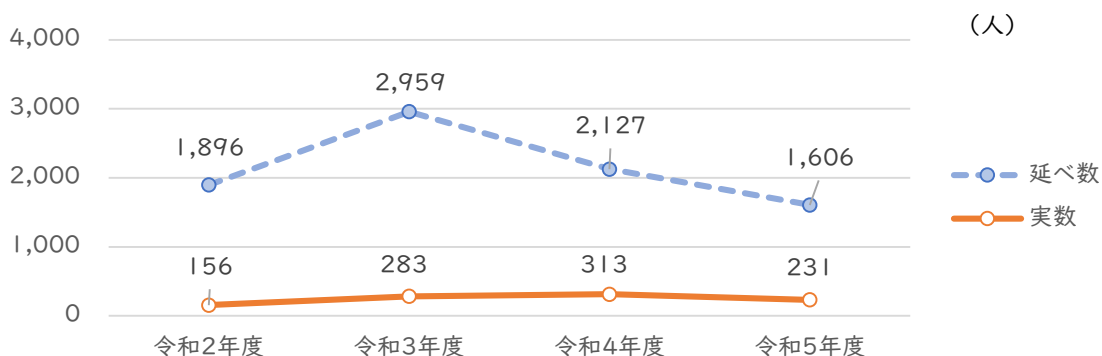
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ数	134	222	161	174	138	92	63	34	31	133	211	213	1,606
実績	28	8	29	21	28	19	8	4	4	21	24	37	231

（参考）令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ数	165	84	85	112	228	289	119	205	299	325	168	48	2,127
実績	32	9	16	19	33	44	16	28	51	39	20	6	313

（2）年度別入院患者数

新型コロナウイルス感染症の入院患者の年度別推移は次のとおりです。



	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
延べ数	1,896	2,959	2,127	1,606
実績	156	283	313	231